



IT Automation

クイックスタート

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro IT Automation Version 1.8.0
Exastro developer

目次

1. はじめに

- 1.1 [はじめに](#)
- 1.2 [本書のシナリオと作業範囲の位置づけ](#)
- 1.3 [各種用語の説明](#)

2. 画面説明

- 2.1 [Webコンソール画面\(ログイン\)](#)
- 2.2 [画面説明\(メインメニュー\)](#)
- 2.3 [画面説明\(各メニュー\)](#)

3. 実行前準備

- 3.1 [Playbookをアップロードしてジョブ\(Movement\)に紐付け](#)
- 3.2 [ジョブ\(Movement\)をジョブフロー\(Conductor\)に組込み](#)
- 3.3 [CMDBにデータシートとパラメータシートを設定](#)
- 3.4 [データシートにデータを登録](#)
- 3.5 [パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け](#)

4. 実行操作(1回目)

- 4.1 [機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録](#)
- 4.2 [作業名\(Operation\)の登録](#)
- 4.3 [パラメータシートにデータを登録](#)
- 4.4 [ジョブフロー\(Conductor\)の実行](#)
- 4.5 [実行結果の確認](#)

目次

5. 実行操作(2回目)

- 5.1 [作業名\(Operation\)の登録](#)
- 5.2 [パラメータシートにデータを登録](#)
- 5.3 [ジョブフロー\(Conductor\)の実行](#)
- 5.4 [実行結果の確認](#)

6. CMDBパラメータの履歴確認

- 6.1 [作業実行と履歴管理](#)
- 6.2 [CMDBパラメータの履歴を確認する](#)

A 付録

- 参考① [【Ansible-Legacy】単体実行](#)
- 参考② [【Ansible-Legacy】実行確認](#)

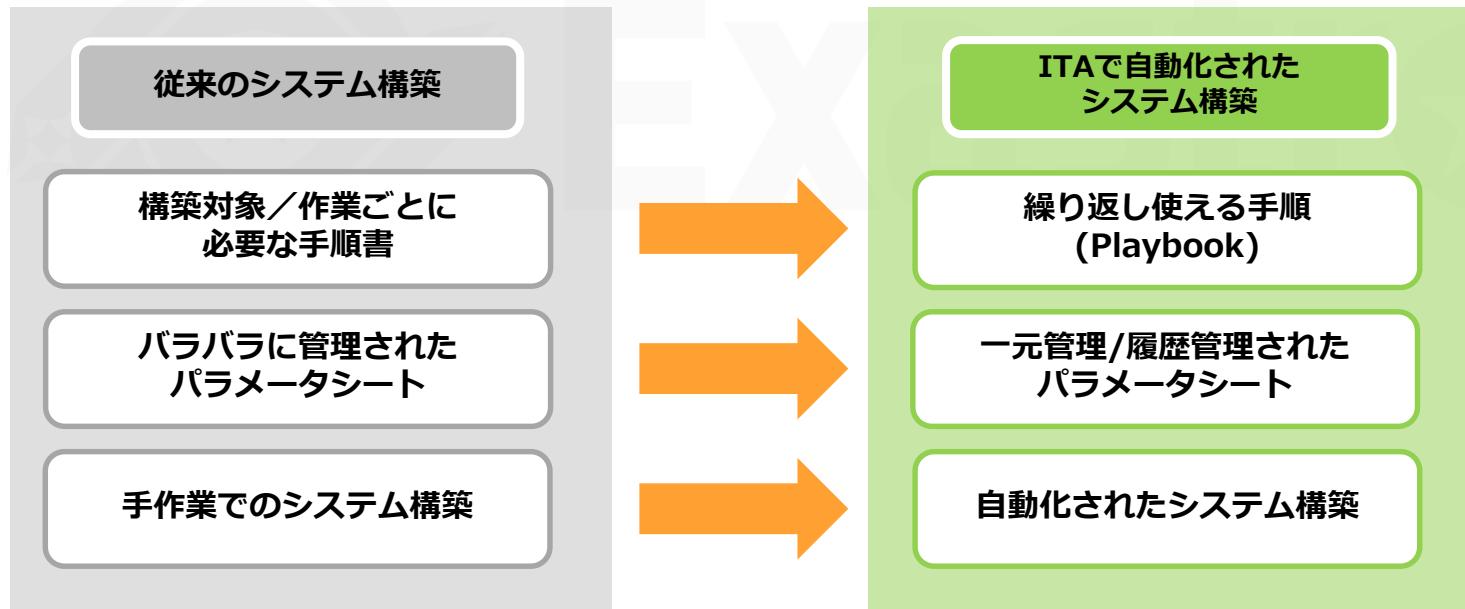
1. はじめに



1.1 はじめに (1/2)

本書は、はじめて IT Automation (以下ITAと記載) に触れるユーザが、ITAのインターフェースをスムーズに体感できるクイックスタートの手順書としてご活用できます。

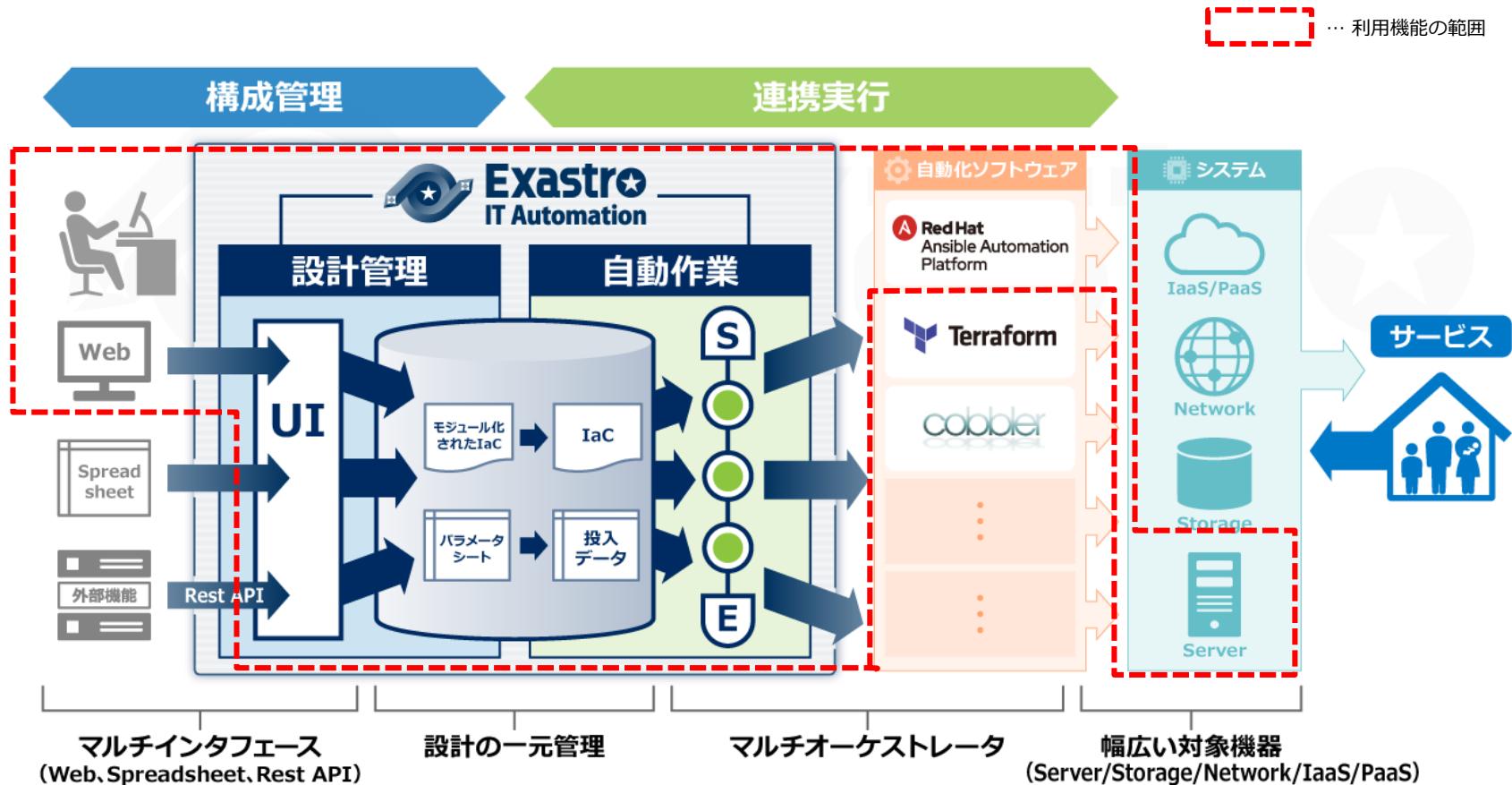
システム構築においてよくあるLinuxサーバのパッケージのインストール作業を通して、構築対象サーバごとの作業とパッケージ管理を自動化・一元管理化を行い、従来のシステム構築とは異なるITAを使用した効率的なシステムを体感できます。



1.1 はじめに (2/2)

■ 本クイックスタートで体感できる主なITA機能の範囲

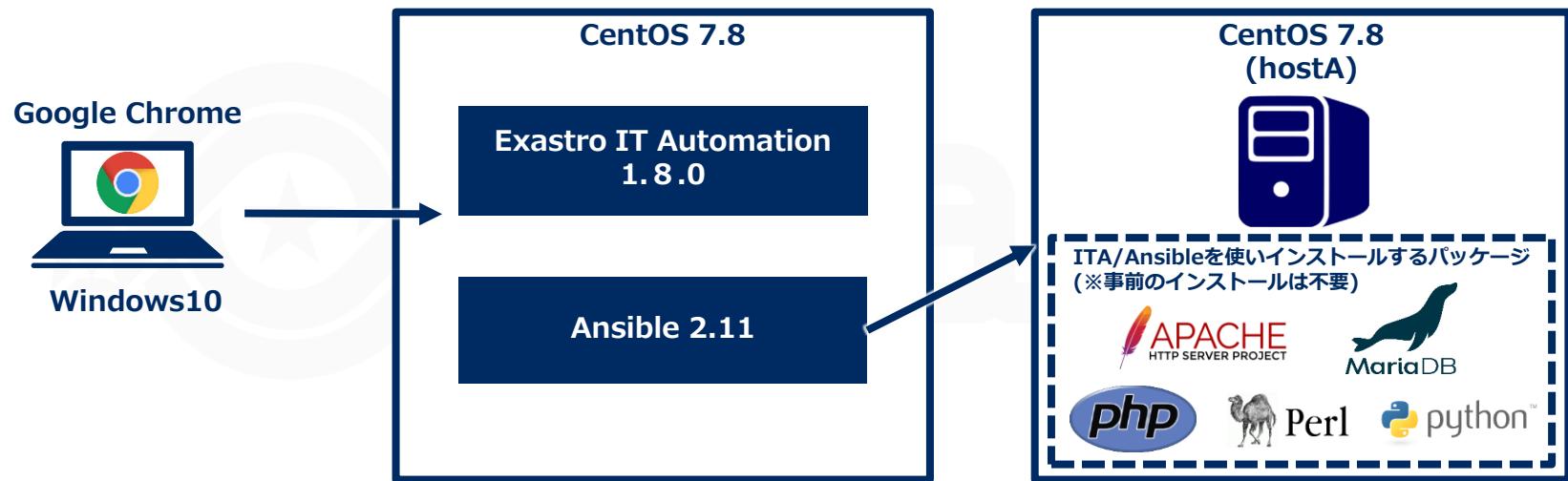
- ・自動化ソフトウェア(Ansible)との連携
- ・パラメータ管理(メニュー作成・登録・履歴管理等)
- ・変数紐付け(代入値自動登録)



1.2 本書のシナリオと作業範囲の位置づけ (1/3)

本シナリオではAnsibleドライバを使用し、Linuxサーバ構築で実施するyumパッケージのインストール作業を構築対象サーバごとにパラメータ管理し、構築作業の自動化を行う内容となっています。

■ 作業環境

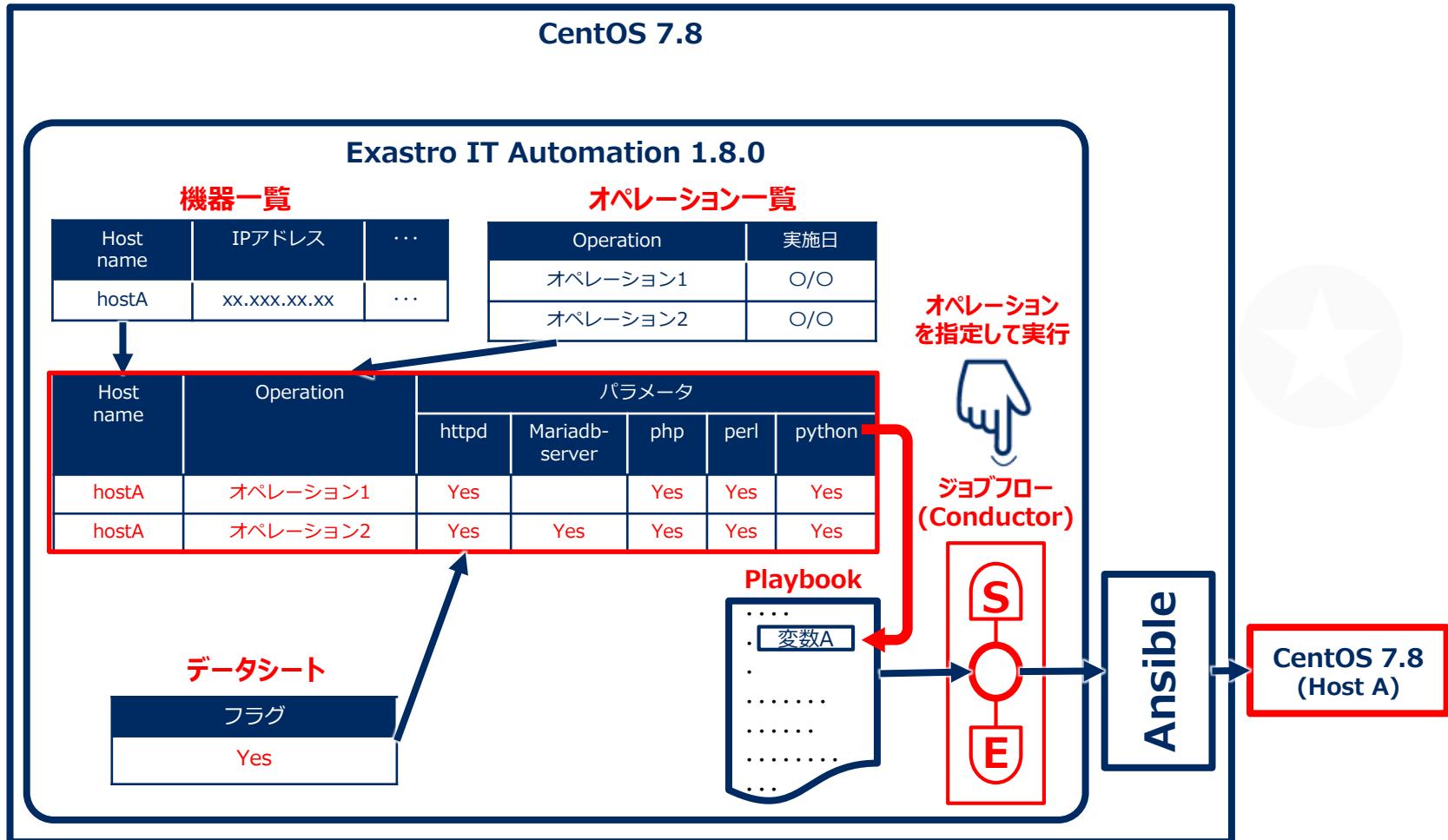


使用するシステム

- Exastro IT Automation 1.8.0
- CentOS Linux 7.8(ITAサーバ用)
- CentOS Linux 7.8(ターゲットマシン用)
- Windows 10(クライアント)
- Google Chrome (Win10側)

1.2 本書のシナリオと作業範囲の位置づけ (2/3)

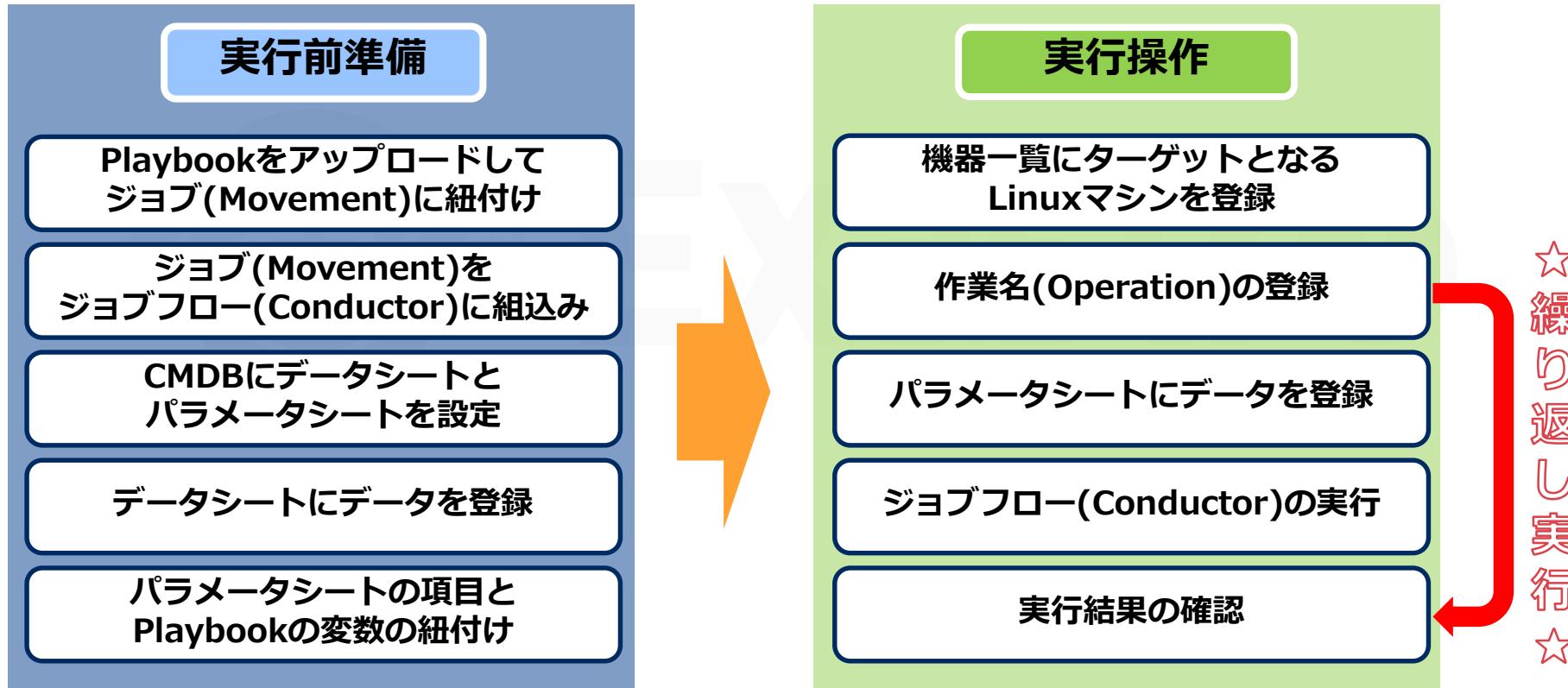
シナリオの実行イメージ



1.2 本書のシナリオと作業範囲の位置づけ (3/3)

インストール後からAnsible-Legacyを実行するまでのシナリオ

- シナリオと、開発者(実行前準備)／作業者(実行操作)の作業範囲については以下の通り。



1.3 各種用語の説明

■ 本シナリオに登場する主な用語

用語	説明
Playbook	定型業務をタスクで記述し、Ansibleに実行させるためのファイルです。YAML形式で使用します。
Ansible-Legacy	ITA から Ansible を利用する機能です。Legacy コンソールでは、構築コードとして単体のYAMLファイルを使う場合に使用します。
オペレーション名 (Oparation)	ITA での作業実行単位。作業予定、実行履歴などを管理することができます。
Conductor	ITA での一連の作業の単位。オペレーション名と関連付けて実行します。Node と呼ぶ各種パートを組み合わせて、ワークフローを作成し、複数の機器に対して、一連の構築・設定などの作業を行います。
Movement	各機器に対する構築ツールを使った構築、設定などの作業の単位。

用語の説明については[ファーストステップガイド](#)をご参照ください。

またExastro ITAについてのより詳しい説明は[ドキュメントサイト](#)をご活用ください。

2. 画面説明



2.1 Webコンソール画面（ログイン）

Webコンソールログイン

- ITAのインストールが完了しURLへアクセスすると、ログイン画面が表示されます。
※インストール手順については”[IT Automation オンラインインストール](#)”をご参照ください。



Point

初回ログイン時は、ログイン直後に
パスワード変更を求められます。

2.2 画面説明(メインメニュー)

画面説明 (メインメニュー)

- 基本的な名称は以下の通りです。

Point

各機能の詳細は
[マニュアル](#)を参照してください。

メニュー

メニュー グループ

Exastro IT Automation 管理コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
パスワード変更 ログアウト

編集

Menu

DASHBOARD

メニュー

システム設定
メニュー グループ管理
メニュー管理
ロール管理
ユーザ管理
ロール・メニュー組付管理
ロール・ユーザ組付管理
シーケンス管理
SSO基本情報管理
SSO属性情報管理
バージョン確認

メニュー グループ

Management Console Basic Console Export / ... Symphony Conductor Input Device

Ansible Legacy Ansible Pioneer Ansible Legacy Role Terraform

Ansible-Pioneer Ansible-Legacy Server Basic Setting Server Basic Setting Menu Creation

Movement Status Result

Point

各機能の詳細は
[マニュアル](#)を参照してください。

2.3 画面説明(各メニュー) (1/2)

画面説明 (各メニュー)

- 基本的な名称は以下の通りです。

The screenshot shows the Ansible-Legacy application interface. The top navigation bar includes the Exastro logo, the title 'Ansible-Legacy', and user information: 'ようこそ[システム管理者]さん ログインID [administrator]'. It also has 'パスワード変更' and 'ログアウト' buttons. The left sidebar contains a menu with items like 'Menu', 'メインメニュー', 'Movement一覧', 'Playbook収集', 'Movement-Playbook紐付け', '代入値自動登録設定', '作業対象ホスト', '代入値管理', '作業実行', '作業状態確認', and '作業管理'. The main content area displays a table of 'Movement' records with columns: 廃止, MovementID, Movement名, オーケストレータ, 遅延タイマー, ホスト指定形式, WinRM接続, ヘッダーセクション, オプションパラメータ, Movement-i, 最終更新日時, and 最終更新者. A red box highlights the 'Movement' column header. Below the table, there are buttons for 'Excel出力' and '登録'. At the bottom, there are sections for '登録', '全件ダウンロードとファイルアップロード編集', and '変更履歴'. A red callout box points to the 'Movement' column header with the text '■ サブメニューの概略'.

■ サブメニューの概略

説明 : 表示中メニューの説明

表示フィルタ : 登録情報の検索機能

一覧/更新 : 登録情報の表示

Point

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

2.3 画面説明(各メニュー) (2/2)

画面説明 (各メニュー)

- 基本的な名称は以下の通りです。

The screenshot shows the Ansible-Legacy application interface. On the left is a vertical navigation menu with the following items:

- Menu
- メインメニュー
- Movement一覧
- Playbook素材集
- Movement-Playbook紐付
- 代入登自動登録設定
- 作業対象ホスト
- 代入登管理
- 作業実行
- 作業状態確認
- 作業管理

The main content area displays several sub-menus:

- 説明
- 表示フィルタ
- 一覧/更新
- 登録
 - 登録開始
- 全件ダウンロードとファイルアップロード編集
 - △閉じる
- 全件ダウンロード
 - △閉じる
- 全件ダウンロード(Excel)
- 新規登録用ダウンロード(Excel)
- ファイルを選択 [選択されていません]
アップロード状況:
ファイルアップロード
- 変更履歴全件ダウンロード
- 変更履歴全件ダウンロード(Excel)

A red box highlights the "登録" sub-menu, which is further expanded by a red arrow labeled "サブメニュー". A red callout box contains the following text:

■サブメニューの概略

- 登録** : Webからのレコード登録
- 全件ダウンロードとファイルアップロード編集** : ExcelからのIN/OUT処理
- 変更履歴** : 登録レコードの変更履歴

At the bottom of the main content area, there is a "Point" section with a red circle:

Point

各機能の詳細は
[マニュアル](#)を参照してください。

3. 実行前準備



3.1 Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け (1/5)

Playbookの準備

- 最初に今回利用するPlaybookの作成をします。

お好みのエディタを使用してymlを作成し自身のローカルフォルダに保存してください。

yum_package_install.yml

```
- name: install the latest version of packages
  yum:
    name: "{{ item }}"
    state: latest
  with_items:
    - "{{ VAR_packages }}"
```

Point

文字コードは“UTF-8”、改行コードは“LF”、拡張子は“yml”形式。また、インデントにご注意ください。

*** yum_package_install.yml x

```
1   name: install the latest version of packages
2   yum:
3     name: "{{ item }}"
4     state: latest
5   with_items:
6     - "{{ VAR_packages }}"
7
```

Playbookをアップロードして
ジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)を
ジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにデータシートと
パラメータシートを設定

データシートにデータを登録

パラメータシートの項目と
Playbookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなる
Linuxマシンを登録

3.1 Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け (2/5)

「Movement一覧」へ新規Movementを登録

- 次にMovementの登録を行っていきます。

メインメニューより、「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「Movement一覧」メニューをクリックします。

The screenshot shows the Exastro Ansible-Legacy interface. On the left, there's a sidebar with various menu items. The 'Movement' item is highlighted with a red box and has a red number '2' above it. In the main content area, there's a grid of icons. One icon, labeled 'Ansible Legacy' and featuring a crown and an 'A', is highlighted with a red box and has a red number '1' above it. The top navigation bar also has a 'Movement' icon with a red circle labeled '2'.

**Playbookをアップロードして
ジョブ(Movement)に紐付け**

**ジョブ(Movement)を
ジョブフロー(Conductor)に組込み**

**CMDBにデータシートと
パラメータシートを設定**

データシートにデータを登録

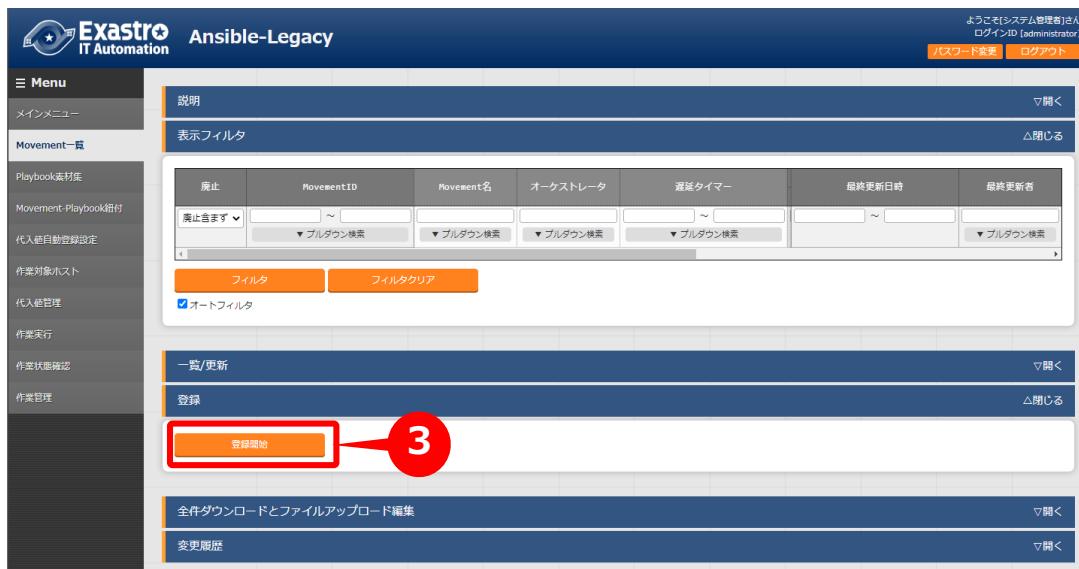
**パラメータシートの項目と
Playbookの変数の紐付け**

**機器一覧にターゲットとなる
Linuxマシンを登録**

3.1 Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け (3/5)

「Movement一覧」へ新規Movementを登録

- 「登録開始」ボタンをクリック。
各項目へ下表のように入力し、登録をクリックしてください。



The screenshot shows the Ansible-Legacy interface with the title 'Movement一覧'. On the left is a sidebar with various menu items like 'Menu', 'Ansible-Legacy', 'Movement一覧', etc. The main area has a search bar and a table with columns: 廃止, MovementID, Movement名, オーケストレータ, 遅延タイマー, 最終更新日時, 最終更新者. Below the table are two buttons: 'フィルタ' and 'フィルタクリア'. At the bottom of the registration form, there is a red box around the '登録開始' button.



The screenshot shows the '登録' (Registration) step of the movement creation process. It includes fields for MovementID, Movement名 (highlighted with a red box), 遅延タイマー, and ホスト指定形式 (highlighted with a red box). Below the form are two buttons: '戻る' and '登録' (highlighted with a red box). A callout box on the right shows the filled-in values: Movement名: パッケージインストール, ホスト指定形式: IP.

3.1 Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け (4/5)

「Playbook素材集」へ新規Playbookを登録

- 次に作成したPlaybookの登録を行います。

「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「Playbook素材集」メニューをクリック。

登録開始をクリックし、各項目へ下表のように入力し登録をクリックしてください。

The screenshot shows the Ansible-Legacy interface with the 'Playbook素材集' menu item highlighted. A red box labeled '1' points to the 'Playbook素材名' field in the registration dialog, which contains 'yum_package_install'. Another red box labeled '2' points to the 'Playbook素材' field, which contains 'yum_package_install.yml'. A red box labeled '3' points to the '登録' (Register) button at the bottom of the dialog. The dialog also includes fields for 'Playbook素材名' (自動入力), 'Playbook素材' (yum_package_install.yml), 'アクセス権' (Access Rights), and '設定' (Settings). A red circle labeled 'Point' is overlaid on the '事前アップロード' (Pre-upload) button in the dialog.



Playbookをアップロードする場合
ファイル指定後は必ず
「事前アップロード」ボタンをクリックしてください。

3.1 Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け (5/5)

「Movement-Playbook紐付」への登録

- 次に登録したPlaybookをMovementに紐付けます。

「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「Movement-Playbook紐付」メニューをクリック。各項目へ下表のように入力、選択し登録をクリックしてください。

Movement	Playbook素材	インクルード順序
パッケージインストール	yum_package_install	1

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDDBにデータシートとパラメータシートを設定

データシートにデータを登録

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

Point

Movement 1つに対し複数のPlaybookを登録する場合、インクルード順序を指定 1 : 1 の場合は1を入力してください。

紐付項目番号	Movement	Playbook素材	インクルード順序	アクセス権	最終更新日時	最終更新者
自動入力	1:パッケージインストール	yum_package_install	1	設定	2023-10-10 10:00:00	自動入力

※*は必須項目です。

戻る 登録

管理者に連絡 全件ダウンロードとファイルアップロード編集

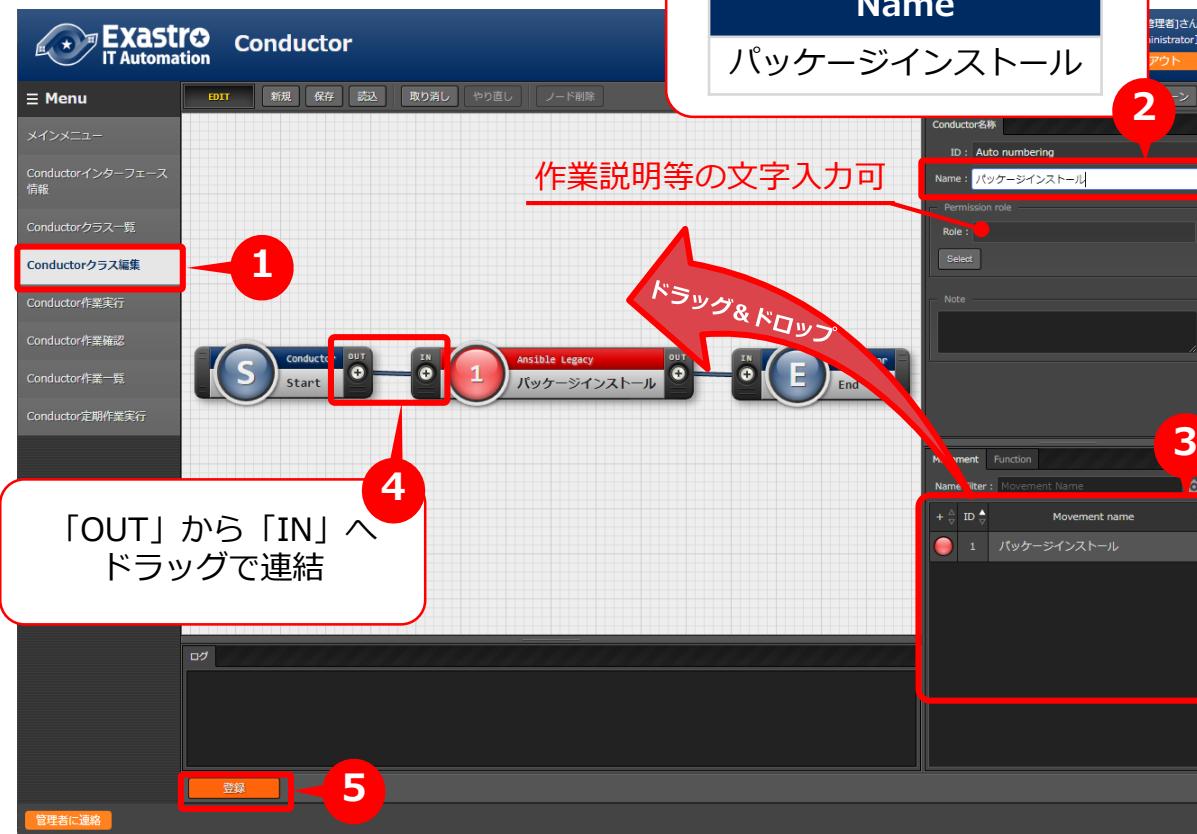
3.2 ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

「Conductor」を作成する

- 次にMovementをConductorに組み込んでいきます。

「Conductor」メニューグループ >> 「Conductorクラス編集」メニューをクリック。

下記の順番の通り入力、移動、連結させ登録をクリックしてください。



3.3 CMDBにデータシートとパラメータシートを設定(1/4)

データシートを作成する

- 次にデータシートを作成します。

「メニュー作成」メニューグループ >> 「メニュー定義/作成」メニューをクリック。

各項目へ下表のように入力、選択し作成をクリックしてください。

The screenshot shows the 'Menu Creation' screen in the Exastro IT Automation application. A red box labeled '1' highlights the 'Menu Definition / Creation' button in the left sidebar. A red box labeled '2' highlights the configuration dialog for a new menu item named 'Flag Definition'. A red box labeled '3' highlights the detailed configuration table for the 'Package Flag' field. A red box labeled '4' highlights the 'Create' button at the bottom of the screen.

1 メニュー定義・作成

2 フラグ定義

3 パッケージフラグ

4 作成

メニュー名	作成対象	表示順序
フラグ定義	データシート	2

項目名	入力方式	最大バイト数	必須	一意制約
パッケージフラグ	文字列(單一行)	32	✓	✓



3.3 CMDBにデータシートとパラメータシートを設定(2/4)

パラメータシートを作成する

- 次にパラメータシートの作成を行います。

「メニュー作成」メニューグループ >> 「メニュー定義/作成」メニューをクリック。

各項目へ下表のように入力、選択して下さい。(次ページへ続く)

2 グループをクリック

1 グループ名
インストールパッケージ

3 グループ名
インストールパッケージ

メニュー名	作成対象	表示順序
インストールパッケージ一覧	パラメータシート (ホスト/オペレーション含む)	1

- Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け
- ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み
- CMDBにデータシートとパラメータシートを設定**
- データシートにデータを登録
- パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け
- 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

3.3 CMDBにデータシートとパラメータシートを設定(3/4)

■ パラメータシートを作成する

- 項目を追加し、各項目へ下表のように入力、選択して下さい。(次ページへ続く)

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface. On the left, there's a sidebar with 'Menu' options like 'メインメニュー', 'メニュー定義・作成', 'メニュー定義一覧', and 'メニュー作成履歴'. The main area has tabs '項目' (selected), 'グループ', 'リピート', '取り消し', and 'やり直し'. A red circle labeled '4' points to a modal window titled 'httpd' which lists five dropdown selection fields for 'mariadb-server', 'php', 'perl', and 'python'. Another red circle labeled '5' points to a table below:

項目名	入力方式	選択項目
httpd	プルダウン選択	入力用:フラグ定義:パラメータ/パッケージフラグ
mariadb-server	プルダウン選択	入力用:フラグ定義:パラメータ/パッケージフラグ
php	プルダウン選択	入力用:フラグ定義:パラメータ/パッケージフラグ
perl	プルダウン選択	入力用:フラグ定義:パラメータ/パッケージフラグ
python	プルダウン選択	入力用:フラグ定義:パラメータ/パッケージフラグ

To the right, a vertical sidebar lists steps: 'Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け', 'ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み', 'CMDBにデータシートとパラメータシートを設定' (highlighted with a red box), 'データシートにデータを登録', 'パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け', and '機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録'. Below these steps is a small preview window.

3.3 CMDBにデータシートとパラメータシートを設定(4/4)

パラメータシートを作成する

- 項目の移動が完了できたら作成をクリックして下さい。

The screenshot shows the 'Parameter Sheet' creation screen in the Exastro IT Automation interface. The main window displays five columns of input fields: 'httpd', 'mariadb-server', 'php', 'perl', and 'python'. Each column has a red box around its top section. A large red arrow points from the text '6 カラムグループの領域に項目をドラッグ&ドロップ' (Drag & Drop items into the column group area) to the top of the first column. Another red arrow points from the text '7 すべての項目を移動すると以下のようにになります' (After moving all items, it will look like this) to the second screenshot below. The second screenshot shows the same five columns, but the 'httpd' and 'mariadb-server' columns have been moved to the left, creating a new two-column group. A red box highlights the '作成' (Create) button at the bottom left of the main window. To the right, a vertical sidebar lists several steps: 'Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け', 'ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み', 'CMDBにデータシートとパラメータシートを設定' (highlighted with a red border), 'データシートにデータを登録', 'パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け', and '機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録'.

6 カラムグループの領域に項目をドラッグ&ドロップ

7 すべての項目を移動すると以下のようにになります

8 作成

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにデータシートとパラメータシートを設定

データシートにデータを登録

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

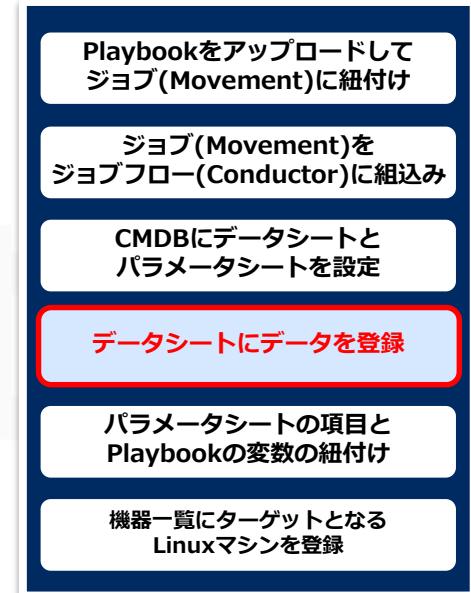
3.4 データシートにデータを登録

「フラグ定義」へ新規データを登録

- 先ほど作成したフラグ定義(データシート)にデータの登録を行います。
「入力用」メニューグループ >> 「フラグ定義」メニューをクリック。
項目へ下表のように入力し登録をクリックして下さい。

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface with the following details:

- Header:** ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
パスワード変更 ログアウト
- Left Sidebar:** Exastro IT Automation 入力用
Menu
メインメニュー
インストールパッケージ一覧
Flag Definition (highlighted with a red box)
- Central Area:**
 - 説明** (Description) and **表示フィルタ** (Display Filter) sections.
 - Table View:** Shows columns: 状態 (Status), No., パッケージフラグ (Package Flag), アクセス権 (Access Rights), 備考 (Remarks), 最終更新日時 (Last Updated Date), and 最終更新者 (Last Updated By).
 - Modal Window:** A modal window titled "パッケージフラグ" (Package Flag) is open, showing the value "Yes".
 - Form View:** A detailed form for "パッケージフラグ" (Package Flag) with fields: No. (自動入力 - Auto Input), パッケージフラグ* (Yes), アクセス権 (Access Rights), 備考 (Remarks), 最終更新日時 (Last Updated Date), and 最終更新者 (Last Updated By). A note at the bottom says "※*は必須項目です." (* is a required item).
 - Buttons:** 戻る (Back) and 登録 (Register) button (highlighted with a red box and labeled 3).



3.5 パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け(1/3)

「代入値自動登録設定」作成

- 最後に代入値自動登録を行います。

「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「代入値自動登録設定」メニューをクリック。

各項目へ下表のように入力、選択して下さい。(次ページへ続く)

Ansible-Legacy

説明

表示フィルタ

一覧/更新

登録

パラメータシート (From)

項目番号: メニューグループ: メニュー

項目: パラメータ/インストールパッケージ/httpd

最終更新日時: 自動入力

最終更新者: 自動入力

項目番号	項目	登録方式	Movement	Key変数 変数名	代入順序
2100011611:代入値自動登録用:3:インストールパッケージ一覧	パラメータ/インストールパッケージ/httpd	Key型	1:パッケージインストール	1:VAR_packages	1
2100011611:代入値自動登録用:3:インストールパッケージ一覧	パラメータ/インストールパッケージ/mariadb-server	Key型	1:パッケージインストール	1:VAR_packages	2
2100011611:代入値自動登録用:3:インストールパッケージ一覧	パラメータ/インストールパッケージ/php	Key型	1:パッケージインストール	1:VAR_packages	3
2100011611:代入値自動登録用:3:インストールパッケージ一覧	パラメータ/インストールパッケージ/perl	Key型	1:パッケージインストール	1:VAR_packages	4
2100011611:代入値自動登録用:3:インストールパッケージ一覧	パラメータ/インストールパッケージ/python	Key型	1:パッケージインストール	1:VAR_packages	5

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにデータシートとパラメータシートを設定

データシートにデータを登録

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

3.5 パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け(2/3)

「代入値自動登録設定」作成

- 各項目へ入力、選択が完了したら登録をクリックして下さい。

The screenshot shows the Exastro IT Automation web interface. On the left, a sidebar menu includes 'Ansible-Legacy' under 'Movement一覧'. The main area displays a registration form for '代入値自動登録設定'. The '登録' tab is selected. A red box highlights the data entry table. A red circle with the number '2' points to the orange '登録' (Register) button at the bottom of the form. To the right, five blue-bordered boxes provide context:

- Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け
- ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み
- CMDBにデータシートとパラメータシートを設定
- データシートにデータを登録
- パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け
- 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

Point

変数紐づけの登録方式は以下の3タイプがあります。

登録方式	今回使用	説明
Value型		基本的なタイプであり、表の中の値を変数に紐づけるものです。
Key型	●	表の項目(列名)を変数に紐づけるものです。項目の設定値が空白の場合は紐づけ対象外になります。
Key-Value型		項目の名称(Key)と設定値(Value)の両方を変数に紐づけることができます。

今回のシナリオでは、表の項目(列名)をPlaybookに具体値として代入したいので、登録方式は「Key型」を選択します。詳細はこちら[システム構築・運用の効率化ガイドブック](#)を参照してください。

3.5 パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け(3/3)

「代入値自動登録設定」作成

- 表示フィルタで5件のデータが登録できているかの確認を行って下さい。
ここまでで実行準備は終了になります。

Exastro IT Automation Ansible-Legacy

表示フィルタ

5件のデータが登録できているかを確認

ID	名前	ID	名前	登録方法	Movement	変数名	Value変数	NULL連携	最終更新日時	最終更新者
1	インストール/パッケージ-1	1	パッケージインストール/1:VAR_packages	Key型	2:パッケージインストール	1:VAR_packages	1		2021/07/15 15:33:22	データポータビリティプロシージャ
2	インストール/パッケージ-2	2	パッケージインストール/1:VAR_packages	Key型	2:パッケージインストール	1:VAR_packages	2		2021/07/15 15:33:54	データポータビリティプロシージャ
3	インストール/パッケージ-3	3	パッケージインストール 1:VAR_packages	Key型	2:パッケージインストール 1:VAR_packages	3			2021/07/15 15:34:47	データポータビリティプロシージャ
4	インストール/パッケージ-4	4	パッケージインストール 1:VAR_packages	Key型	2:パッケージインストール 1:VAR_packages	4			2021/07/15 15:35:38	データポータビリティプロシージャ
5	インストール/パッケージ-5	5	パッケージインストール 1:VAR_packages	Key型	2:パッケージインストール 1:VAR_packages	5			2021/07/15 15:36:06	データポータビリティプロシージャ

登録

全件ダウンロードとファイルアップロード機能

変更履歴

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにデータシートとパラメータシートを設定

データシートにデータを登録

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

4. 実行操作(1回目)



4.1 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録(1/3)

「機器一覧」へ新規ターゲットホストの登録

- 最初に機器一覧へ今回パッケージをインストールするターゲットホストを登録します。
「基本コンソール」メニューグループ >> 「機器一覧」メニューをクリック。
各項目へ下表のように入力して下さい。(次ページへ続く)

Exastro IT Automation 基本コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
パスワード変更 ログアウト

Menu

- メインメニュー
- 機器一覧** (Red Box)
- オペレーション一覧

Movement一覧

ER図表示

説明

フィルタ

登録

△閉じる

管理システム項目番号 HW機器種別 ホスト名* IPアドレス* EtherWakeOnLan MACアドレス ネットワークデバイス名 ログ 最終更新日時 最終更新者

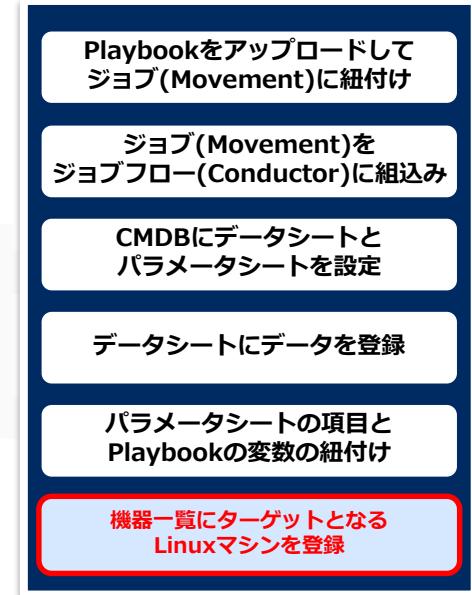
管理システム項目番号	HW機器種別	ホスト名*	IPアドレス*	EtherWakeOnLan	MACアドレス	ネットワークデバイス名	ログ	最終更新日時	最終更新者
自動入力	SV	hostA	192.168.10.1				自動入力	自動入力	

※*は必須項目です。

2

HW機器種別	ホスト名	IPアドレス
SV	(任意のホスト名)	(任意のIPアドレス)

管理者に連絡



4.1 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録(2/3)

「機器一覧」へ新規ターゲットホストの登録

- スクロールバーを右にスライドし各項目へ下表のように入力して下さい。(次ページへ続く)

Exastro IT Automation 基本コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
[パスワード変更] [ログアウト]

説明 ▽開く
表示フィルタ ▽開く
一覧/更新 ▽開く
登録 △閉じる

管理システム項目番号 ログインユーザID ログインパスワード ssh鍵認証情報

管理システム項目番号	ログインユーザID	管理	ログインパスワード	ssh鍵認証情報	最終更新日時	最終更新者
自動入力	root	●	*****	ssh秘密鍵ファイル ファイルを選択 選択されていません 事前アップロード アップロード状況:	自動入力	自動入力

^{}は必須項目です。

2

ログインユーザID (任意のログインユーザID)	ログインパスワード管理 ●	ログインパスワード (任意のパスワード)
-----------------------------	------------------	-------------------------

変更履歴

管理者に連絡

- Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け
- ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み
- CMDBにデータシートとパラメータシートを設定
- データシートにデータを登録
- パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け
- 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

4.1 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録(3/3)

「機器一覧」へ新規ターゲットホストの登録

- 最後の項目へ下表のように選択し登録をクリックして下さい。

Exastro IT Automation 基本コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
[パスワード変更] [ログアウト]

3

Legacy/Role利用情報
認証方式
パスワード認証

△閉じる

Ansible利用情報
Legacy/Role利用情報
WinRM接続情報
最終更新日時 最終更新者

管理システム項目 認証方式 ポート番号 サーバー証明書 フ

自動入力 パスワード認証 ファイルを選択 選択されていません
事前アップロード
アップロード状況:

※*は必須項目です。

戻る 登録 4

全件ダウンロードとファイルアップロード編集
変更履歴

管理者に連絡

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにデータシートとパラメータシートを設定

データシートにデータを登録

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

Point

Ansible-Legacyを実行するための必須入力項目は以下の6項目です。
[ホスト名][IPアドレス][ログインユーザID]
[ログインパスワード管理][ログインパスワード]
[認証方式※]
※本書は「パスワード認証」で記載します。

4.2 作業名(Operation)の登録

「オペレーション一覧」へ新規オペレーション名を登録

- 次にオペレーション名を登録していきます。

「基本コンソール」メニューグループ >> 「オペレーション一覧」メニューをクリック。

各項目へ入力、選択が完了したら登録をクリックして下さい。

The screenshot shows the 'Basic Console' interface. On the left, there's a sidebar with a menu. The 'Operations List' item is highlighted with a red box and a red number '1'. The main area is titled 'Operation List' and contains a search form with dropdown menus for filtering by status, ID, name, date, and user. Below the search is a 'Filter' button. A secondary window titled 'List/Update' is open, showing a table with columns: No., Operation ID, Operation Name, Implementation Date, Access Rights, Remarks, Last Update Date, and Last Updater. A row is selected, and its details are shown in a modal dialog. The modal has fields for 'Operation Name' (set to 'Operation 1') and 'Implementation Date' (set to '(Any Date)'). At the bottom of the modal are 'Back' and 'Register' buttons, with 'Register' highlighted with a red box and a red number '3'. A note at the bottom of the modal says '* * is a required field.' The bottom of the main window also has a note: 'All download and file upload functions are available in the full version.'

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

実行結果の確認

4.3 パラメータシートにデータを登録(1/2)

「インストールパッケージ一覧」へ新規データを登録

- 次に実行前準備で用意したインストールパッケージ一覧(パラメータシート)にデータを入力していきます。

「入力用」メニューグループ >> 「インストールパッケージ一覧」メニューをクリック。
各項目へ入力、選択が完了したら登録をクリックして下さい。

Exastro IT Automation 入力用

Menu

メインメニュー

インストールパッケージ一覧

ログアウト

パスワード変更

説明

ルタ

新規

登録

△開く

△開く

△開く

△閉じる

1

2

3

※*は必須項目です。

戻る

登録

△開く

全件ダウンロードとファイルアップロード編集

管理者

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

実行結果の確認

No	ホスト名	オペレーション	パラメータ	最終更新日時	最終更新者
自動入力	hostA	2021/05/02 12:00_1:オペレーション1	httpd mariadb-server php perl python	Yes Yes Yes Yes Yes	自動入力 自動入力

ホスト名	オペレーション	httpd	mariadb-server	php	perl	python
(機器登録で登録したホスト名)	(選択した実行予定日時)_1: オペレーション1	Yes		Yes	Yes	Yes

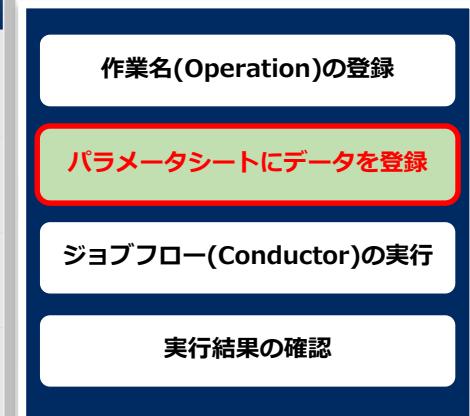
4.3 パラメータシートにデータを登録(2/2)

「インストールパッケージ一覧」への登録

- 実行前準備の代入値自動登録設定の時と同様、表示フィルタを開き「フィルタ」ボタンをクリックして登録したデータを確認してください。

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface with the following details:

- Header:** ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
パスワード変更 ログアウト
- Left Sidebar:** メインメニュー、インストールパッケージ
- Top Bar:** 表示フィルタ (highlighted by a red box)
- Search Dialog:** 廃止 (highlighted by a red box), No (highlighted by a red box), ホスト名 (highlighted by a red box), オペレーション (highlighted by a red box), ID (highlighted by a red box), オペレーション名 (highlighted by a red box), 基準日時 (highlighted by a red box), 最終更新日時 (highlighted by a red box), 最終更新者 (highlighted by a red box). Buttons: フィルタ (highlighted by a red box), フィルタクリア, オートフィルタ.
- Table:** オペレーション (highlighted by a red box), パラメータ (highlighted by a red box). Columns: 順序 (highlighted by a red box), 備考 (highlighted by a red box), 更新 (highlighted by a red box), 廃止 (highlighted by a red box), No (highlighted by a red box), ホスト名 (highlighted by a red box), ID (highlighted by a red box), オペレーション名 (highlighted by a red box), 基準日時 (highlighted by a red box), 実施予定日時 (highlighted by a red box), 最終実行日時 (highlighted by a red box), インストールバック (highlighted by a red box), 最終更新日時 (highlighted by a red box), 最終更新者 (highlighted by a red box). Data rows:
 - 1 hostA 1 オペレーション1 2021/07/19 11:10 2021/07/15 16:45 2021/07/19 11:10 Yes Yes 2021/07/15 16:20:01 データポートアビリティプロジェクト
 - 2 hostB 2 オペレーション2 2021/07/19 11:10 2021/07/15 16:45 2021/07/19 11:10 Yes Yes 2021/07/15 16:20:01 データポートアビリティプロジェクト
- Buttons:** Excel出力, Table setting
- Bottom:** 管理者に連絡, ハードウェア監視



4.4 ジョブフロー(Conductor)の実行(1/3)

Conductorの実行

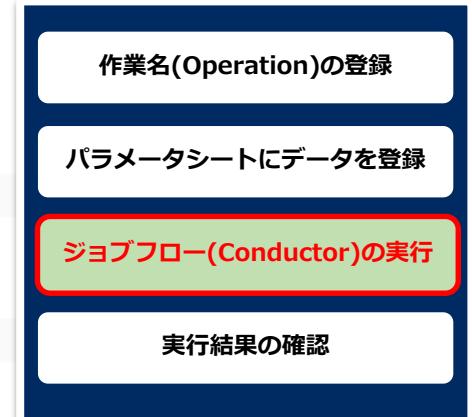
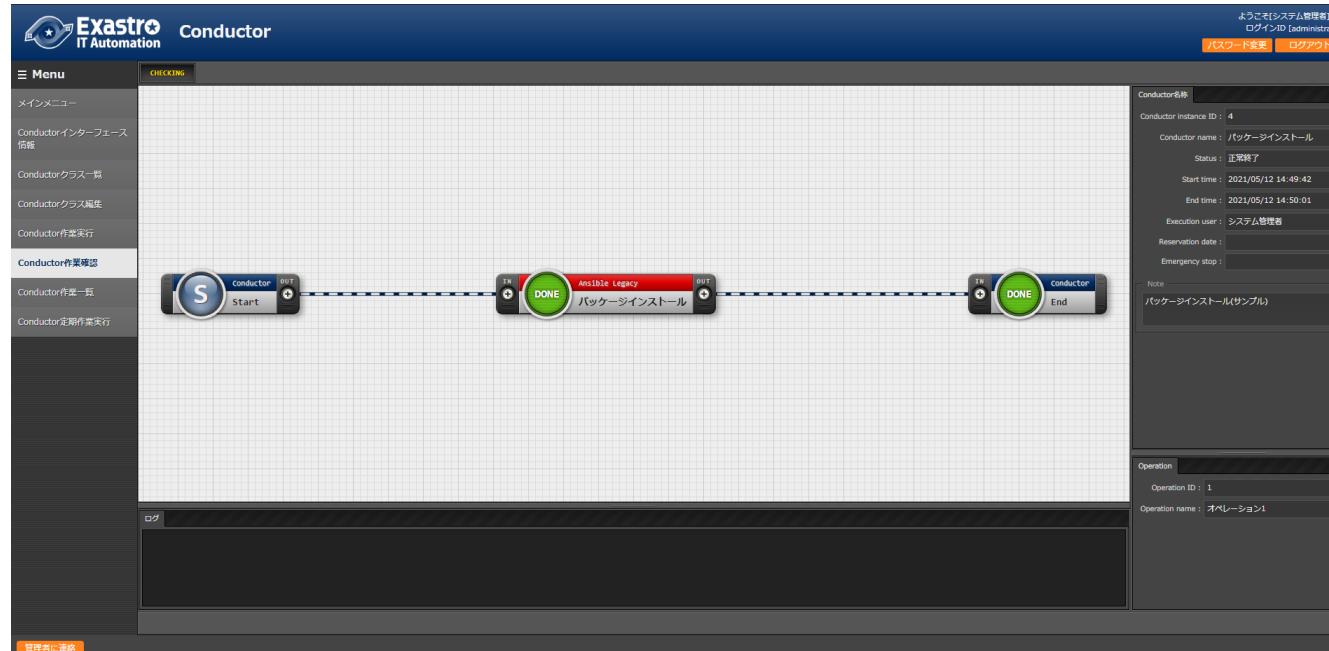
- いよいよ実行を行っていきます。
「Conductor」メニューグループ>>「Conductor作業実行」メニューをクリック。
実行する「Conductor」と「オペレーション」を選択し実行をクリックして下さい。

The screenshot shows the Exastro IT Automation Conductor interface. On the left, a sidebar menu has 'Conductor作業実行' (Conductor Job Execution) highlighted with a red box and a red number 1. The main content area has two tables. The top table, titled 'Conductor[一覧]' (Conductor List), has a red box around its header and a red number 2 above it. It shows one item: '1 パッケージインストール' (Package Installation) with 'パッケージインストール(サンプル)' (Package Installation Sample) in the description. The bottom table, titled 'オペレーション[一覧]' (Operation List), has a red box around its header and a red number 3 above it. It shows one item: '1 オペレーション1' (Operation 1) with 'オペレーション1' (Operation 1) in the name. At the bottom of the main area is a button labeled 'Conductor実行' (Conductor Execute). To the right, there is a vertical stack of five boxes: '作業名(Operation)の登録' (Job Name (Operation) Registration), 'パラメータシートにデータを登録' (Register Data to Parameter Sheet), 'ジョブフロー(Conductor)の実行' (Execute Job Flow (Conductor)) which is highlighted with a green box and a red number 4, and '実行結果の確認' (Execution Result Confirmation).

4.4 ジョブフロー(Conductor)の実行(2/3)

実行結果確認

- 実行すると「Conductor作業確認」メニュー画面に切替わり、実行ステータスやログが表示されます。



Point

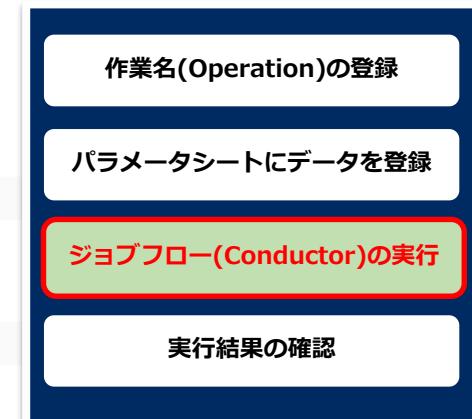
実行ステータスやログを
リアルタイムで
確認可能です。

4.4 ジョブフロー(Conductor)の実行(3/3)

実行結果確認

- ジョブ(Movement)を選択し、Doneのアイコンまたは右側のOperation statusをクリックすると詳細が表示されます。

The screenshot shows the Exastro Conductor interface. On the left, there's a navigation menu with items like 'Menu', 'Conductor', 'Ansible Legacy', 'Movement', 'Playbook', 'Movement-Playbook組付', '代入値自動登録設定', '作業対象ホスト', '代入値管理', '作業実行', '作業状態確認', and '作業管理'. The main area displays a workflow diagram with nodes: 'Conductor Start' (S), 'Ansible Legacy' (with a 'DONE' button highlighted by a red box and a red arrow labeled '選択'), 'DUT', and 'Conductor End'. A callout '1 選択' points to the 'DONE' button. To the right, a detailed view of the 'Ansible Legacy' node is shown, including its configuration and logs. The 'Movement' tab is selected, displaying a table with columns '項目' and '値'. Key entries include '作業ID': 4, '実行機別': 通常, 'ステータス': 完了, '実行エンジン': Ansible Engine, '呼出元Symphony': バッケージインストール, '呼出元Conductor': バッケージインストール, '実行ユーザ': システム管理者, '名前': バッケージインストール, '運送タイマ(分)': 10, 'Ansible利用情報': ホスト指定形式: IP WinRM接続, 'オペレーション': 名称: オペレーション1, ID: 1, '作業対象ホスト': 代入値, '入力データ': 投入データ: InputData_0000000004.zip, '出力データ': 結果データ: ResultData_0000000004.zip, '予約日時': 開始日時: 2021/05/12 14:49:48, '終了日時': 終了日時: 2021/05/12 14:49:54. The bottom of the screen shows a log entry: '進行状況(実行ログ)'.



4.5 実行結果の確認(1/3)

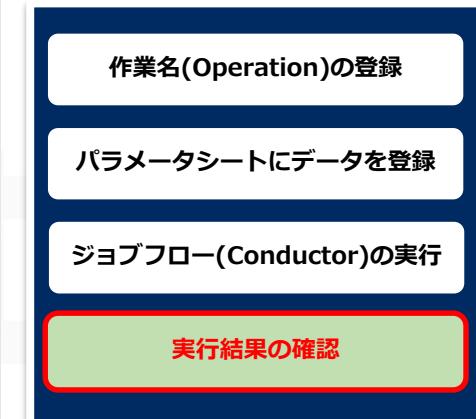
実行ログの確認

- 詳細画面の進行状況(実行ログ)でAnsibleの実行ログを確認していきます。

The screenshot shows the Ansible execution log details page. On the left, there's a sidebar with various menu items. The main area displays a summary table with fields like '作業対象ホスト' (Target Host), '代入値' (Input Value), '入力データ' (Input Data), '出力データ' (Output Data), '予約日時' (Reservation Date and Time), '作業状況' (Job Status), '開始日時' (Start Date and Time), and '終了日時' (End Date and Time). Below this is a large window titled '進行状況(実行ログ)' (Execution Log Status) which contains the Ansible command output. The output shows the following:

```
httpd-tools.x86_64 0:2.4.6-97.el7.centos libzip.x86_64 0:0.10.1-8.el7  
mailcap.noarch 0:2.1.41-2.el7 php-cli.x86_64 0:5.4.16-48.el7  
php-common.x86_64 0:5.4.16-48.el7  
  
Updated:  
perl.x86_64 4:5.16.3-299.el7_9 python.x86_64 0:2.7.5-90.el7  
  
Dependency Updated:  
perl-libs.x86_64 4:5.16.3-299.el7_9 python-langs.x86_64 0:2.7.5-90.el7  
  
Complete!  
[  
]  
META: ran handlers  
META: ran handlers  
  
PLAY RECAP ****  
ita-test-target01 : ok=1    changed=1    unreachable=0    failed=0    skipped=0    rescued=0    ignored=0  
4
```

At the bottom of the log window, there's another section titled '進行状況(エラーログ)' (Execution Log Status) which is currently empty.



4.5 実行結果の確認(2/3)

実行ログの確認

- httpd,php,perl,pythonをインストールされているか実行ログから確認して下さい。

進行状況(実行ログ)の一部

Installed:

```
httpd.x86_64 0:2.4.6-97.el7.centos      php.x86_64 0:5.4.16-48.el7
```

Dependency Installed:

```
httpd-tools.x86_64 0:2.4.6-97.el7.centos    libzip.x86_64 0:0.10.1-8.el7  
mailcap.noarch 0:2.1.41-2.el7            php-cli.x86_64 0:5.4.16-48.el7  
php-common.x86_64 0:5.4.16-48.el7
```

Updated:

```
perl.x86_64 4:5.16.3-299.el7_9        python.x86_64 0:2.7.5-90.el7
```

Dependency Updated:

```
perl-libs.x86_64 4:5.16.3-299.el7_9     python-libs.x86_64 0:2.7.5-90.el7
```

Complete!

```
"  
]  
}
```

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

実行結果の確認

4.5 実行結果の確認(3/3)

ターゲットマシンの確認

- ターゲットマシンでもパッケージがインストールできていることを確認して下さい。

hostA

```
$ yum list installed httpd
Loaded plugins: fastestmirror, langpacks
Loading mirror speeds from cached hostfile
* base: ftp-srv2.kddilabs.jp
* extras: ftp-srv2.kddilabs.jp
* updates: ftp-srv2.kddilabs.jp
Installed Packages
httpd.x86_64          2.4.6-97.el7.centos      @updates
```

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

実行結果の確認

5. 実行操作(2回目)



5.1 作業名(Operation)の登録

「オペレーション一覧」へ新規オペレーション名を登録

- ここからは1回目のオペレーション名登録以降の作業と同様になります。
「基本コンソール」メニューグループ >> 「オペレーション一覧」メニューをクリック。
各項目へ入力、選択が完了したら登録をクリックして下さい。

Exastro IT Automation 基本コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
パスワード変更 ログアウト

Menu

メインメニュー
機器一覧
オペレーション一覧 ①

Movement一覧
ER図表示

説明

表示フィルタ

最終更新者

最終更新日時

オペレーション名

オペレーションID

No.

廃止しまず

△開く △閉じる

Table setting

フィルタ フィルタクリア

オートフィルタ

一覧/更新

登録

※*は必須項目です。

戻る 登録 ③

全件ダウンロードとファイルアップロード編集

管理者に連絡

1

2

3

オペレーション名
オペレーション2

実施予定日時
(任意の日時)

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

実行結果の確認

5.2 パラメータシートにデータを登録

「インストールパッケージ一覧」新規データを登録

- 「入力用」メニュー グループ >> 「インストールパッケージ一覧」メニューをクリック。各項目へ入力、選択が完了したら登録をクリックして下さい。
1回目とインストールするパッケージが異なるので注意して下さい。

ようこそ(システム名)
ログインID [admin]
[ログアウト] パスワード変更

Exastro
IT Automation 入力用

説明

1 レタ

一覧/更新

登録

メインメニュー

インストールパッケージ一覧

フラグ定義

No ホスト名*

オペレーション*

オペレーション*

httpd mariadb-server php perl python

最終更新日時 最終更新日時

※*は必須項目です。

戻る 登録

全件ダウンロードとファイルアップロード編集

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

実行結果の確認

ホスト名	オペレーション	httpd	mariadb-server	php	perl	python
(機器登録で登録したホスト名)	(選択した実行予定日時)_2: オペレーション2	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes

5.3 ジョブフロー(Conductor)の実行(1/3)

Conductorの実行

- 2回目の実行も行っていきます。

「Conductor」メニューグループ>>「Conductor作業実行」メニューをクリック。
実行する「Conductor」と「オペレーション」を選択し実行をクリックして下さい。

The screenshot shows the Exastro IT Automation Conductor interface. On the left, the 'Menu' sidebar is visible with various options like 'Conductor作業実行' (highlighted with a red box and labeled 1), 'Conductor作業確認', 'Conductor作業一覧', and 'Conductor定期作業実行'. The main area has two tabs: 'Conductor[フィルタ]' (highlighted with a red box and labeled 2) and 'Conductor[一覧]'. The 'Conductor[一覧]' tab displays a table with one row selected (highlighted with a red box and labeled 3). Below it is the 'オペレーション[一覧]' tab, which also displays a table with two rows selected (highlighted with a red box and labeled 3). A large red circle labeled 4 points to the '実行' (Execute) button at the bottom right of the interface.

1 Conductor作業実行

2 Conductor[フィルタ]

3 Conductor[一覧]

4 実行

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

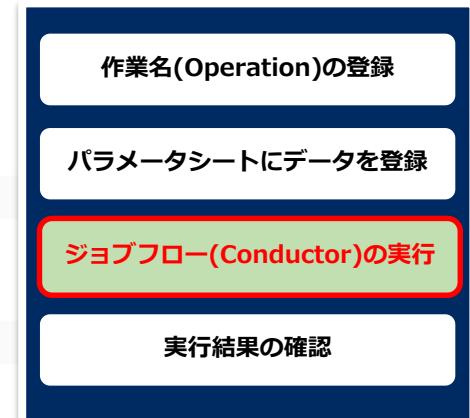
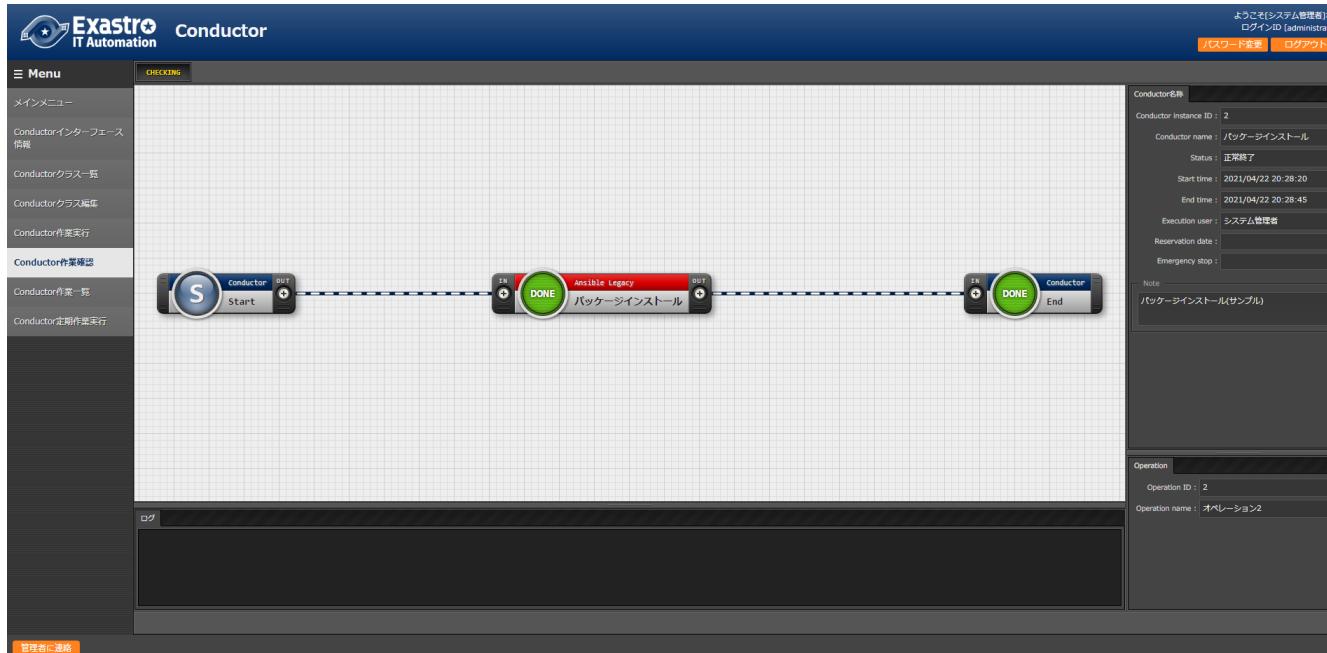
ジョブフロー(Conductor)の実行

実行結果の確認

5.3 ジョブフロー(Conductor)の実行(2/3)

作業結果確認

- 実行すると「Conductor作業確認」メニュー画面に切替わり、実行ステータスやログが表示されます。



Point

実行ステータスやログを
リアルタイムで
確認可能です。

5.3 ジョブフロー(Conductor)の実行(3/3)

作業結果確認

- ジョブ(Movement)を選択し、Doneのアイコンまたは右側のOperation statusをクリックすると詳細が表示されます。

Exastro Conductor

Menu

メインメニュー
Conductorインターフェース情報
Conductorクラスク一覧
Conductorクラス属性
Conductor作業実行
Conductor作業確認
Conductor作業一覧
Conductor定期作業実行

ログ

管理者に連絡

CHECKING

S Conductor Start DONE Ansible Legacy バッケージインストール GPT

Node

Node type : movement
Node instance ID : 6
Node name : node-3
Status : 正常終了
Start time : 2021/04/22 20:28:20
End time : 2021/04/22 20:28:42
Operation status : 作業状況確認
Operation ID :
Operation name :
Note :

Ansible-Legacy

Menu

メインメニュー
Movement一覧
Playbook実行
Movement-Playbook追付
代入値自動割り当て設定
作業対象ホスト
代入値管理
作業実行
作業状態確認
作業管理

LOG

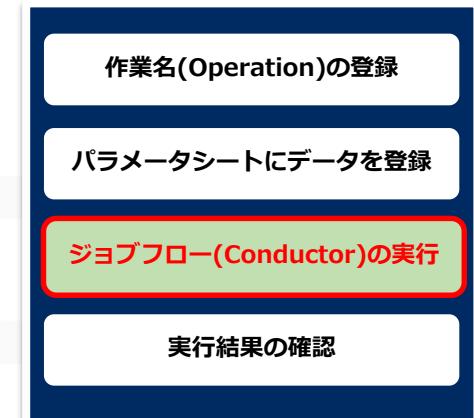
管理者に連絡

1 選択

Ansible Legacy バッケージインストール

進行状況(実行ログ)

管理者に連絡



5.4 実行結果の確認(1/2)

作業結果確認

- 詳細画面の進行状況(実行ログ)でAnsibleの実行ログを確認します。

The screenshot shows the Ansible execution log details. At the top, there is a summary table with the following data:

出力データ	結果データ	ResultData_000000002.zip
予約日時		
作業状況	開始日時	2021/04/22 20:28:26
	終了日時	2021/04/22 20:28:38

The main area displays the "Execution Log (Details)" window, which is highlighted with a red box. It contains the following content:

進行状況(実行ログ)

ファイルタ : 該当行のみ表示

```
perl-Compress-Raw-Zlib.x86_64 1:2.061-4.el7
perl-DBD-MySQL.x86_64 0:4.023-6.el7
perl-DBI.x86_64 0:1.627-4.el7
perl-IO-Compress.noarch 0:2.061-2.el7
perl-Net-Daemon.noarch 0:0.48-5.el7
perl-PICRPC.noarch 0:0.2020-14.el7

Dependency Updated:
mariadb-libs.x86_64 1:5.5.68-1.el7

Complete!
"
}
META: ran handlers
META: ran handlers

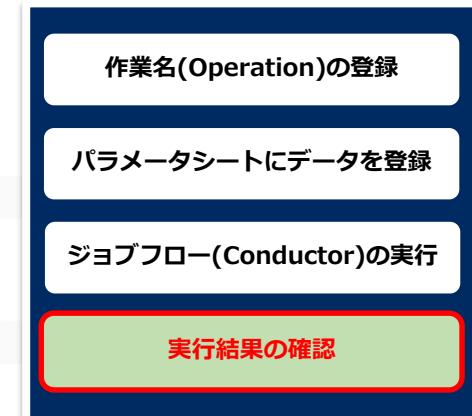
PLAY RECAP ****
ita-test-target01 : ok=1    changed=1    unreachable=0    failed=0    skipped=0    rescued=0    ignored=0
```

Below this window is another one titled "Execution Log (Error Log)".

進行状況(エラーログ)

ファイルタ : 該当行のみ表示

```
(empty log area)
```



5.4 実行結果の確認(2/2)

実行ログの確認

- 新たにmariadbのインストールと他のパッケージとの依存関係の解決、他の4つのパッケージ(htpd,php,perl,python)のバージョンアップが行われていることを確認して下さい。

進行状況(実行ログ)の一部

```
Package httpd-2.4.6-97.el7.centos.x86_64 already installed and latest version¥
Package php-5.4.16-48.el7.x86_64 already installed and latest version¥
Package 4:perl-5.16.3-299.el7_9.x86_64 already installed and latest version¥
Package python-2.7.5-90.el7.x86_64 already installed and latest version¥

~~~~~省略~~~~~

Installed:
  mariadb-server.x86_64 1:5.5.68-1.el7

Dependency Installed:
  mariadb.x86_64 1:5.5.68-1.el7
  perl-Compress-Raw-Bzip2.x86_64 0:2.061-3.el7
  perl-Compress-Raw-Zlib.x86_64 1:2.061-4.el7
  perl-DBD-MySQL.x86_64 0:4.023-6.el7
  perl-DBI.x86_64 0:1.627-4.el7
  perl-IO-Compress.noarch 0:2.061-2.el7
  perl-Net-Daemon.noarch 0:0.48-5.el7
  perl-PIRPC.noarch 0:0.2020-14.el7

Dependency Updated:
  mariadb-libs.x86_64 1:5.5.68-1.el7

Complete!
"
]
```

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

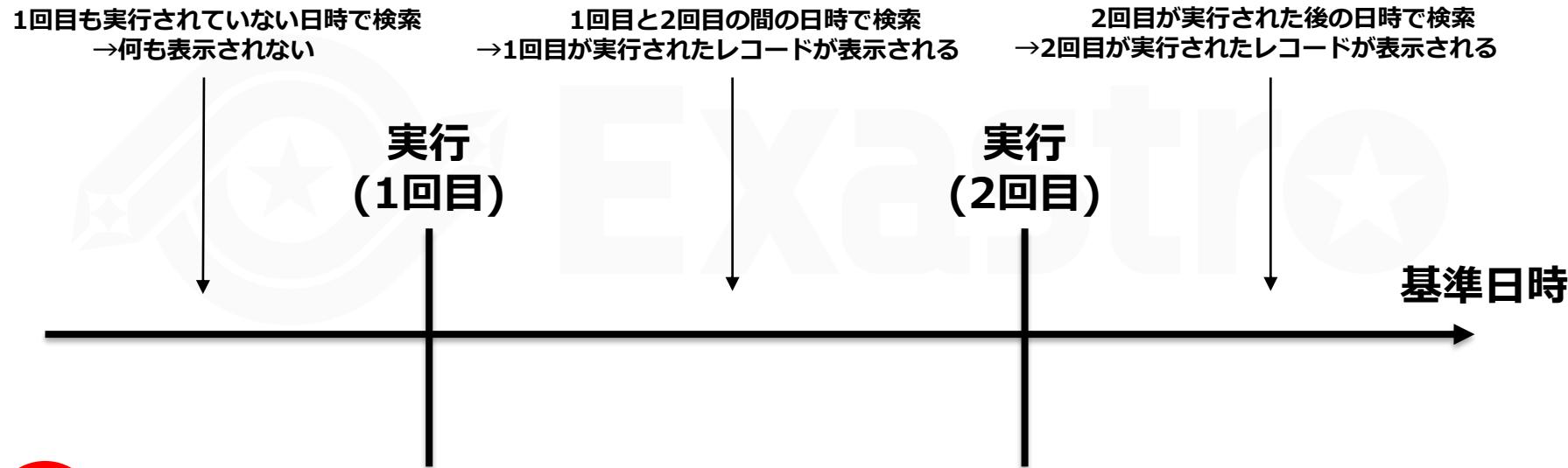
実行結果の確認

6. CMDBパラメータの履歴確認

6.1 作業実行と履歴管理

履歴管理と本シナリオのポイント

- ITAはCMDBに「誰が・いつ・何をしたのか？」を履歴管理し、その時の時点でシステムのパラメータはどうなっているのかを抽出できる機能があります。パラメータの履歴管理することにより、設計者や運用者がストレスなくシステム更改を行うことができます。



Point

今回のクイックスタートではパラメータの履歴管理を体験していただくために、実行を2回行いました。

6.2 CMDBパラメータの履歴を確認する(1/3)

履歴確認

- 実際にパラメータが管理できているかどうか確認をしていきます。
「参照用」メニューグループ >> 「インストールパッケージ一覧」メニューをクリック。
まずは基準日付を入力せずにフィルタをかけます。(次ページへ続く)

The screenshot shows the 'Install Package List' page in the Exastro IT Automation interface. The top navigation bar includes the Exastro logo, user information (ログインID [administrator]), and links for 'Password Change' and 'Logout'. The main menu on the left has items like 'Main Menu', 'Install Package List' (which is highlighted with a red box and labeled 1), and 'Export Filter'. The main content area has two tabs: 'List' (selected) and 'History' (disabled). The 'List' tab displays a table of installed packages with columns for ID, Host Name, Operation Name, Baseline Date, Actual Start Date, Actual End Date, Status, Parameters, Access Rights, Notes, Last Update Date, and Last Updater. A single row is shown for 'hostA' with operation 'オペレーション2'. A red box highlights the 'Baseline Date' input field under the 'Filter' section (labeled 2). A callout box points to this field with the text '何も入力せずにフィルタをクリック' (Click the filter without entering any input). Another red box highlights the 'Filter' button (labeled 3). A callout box points to the 'List' tab with the text '現時点での最新のデータが表示されることを確認する' (Confirm that the latest data is displayed at the current time). The bottom navigation bar includes 'Administrator Contact' and other standard links.

履歴	No	ホスト名	ID	オペレーション名	基準日時	実施予定日時	最終実行日時	状況	パラメータ	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
履歴	2	hostA	2	オペレーション2	2021/04/22 20:28	2021/05/29 18:00	2021/04/22 20:28	Yes	httpd,mariadb-server,php,perl,python	アクセス許可ロール		2021/04/23 19:24:52	システム管理者

6.2 CMDBパラメータの履歴を確認する(2/3)

履歴確認

- 次に2回目の実行を行った基準日時より前の日付を入力してフィルタをかけます。
(次ページへ続く)

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface with the following steps highlighted:

- 1**: A red circle points to the "オペレーション 基準日時" dropdown menu, which contains the date "2021/04/22 20:25". A callout box with Japanese text "2回目の実行を行った日時より前の日時を入力し フィルタをクリック" (Input the date before the execution time of the second run and click the filter) is positioned above the dropdown.
- 2**: A red circle points to the "フィルタ" button located below the dropdown menu.
- 3**: A red circle points to the "1回目の実行結果が表示されることを確認する" (Confirm that the results of the first execution are displayed) callout box, which is positioned over the "Excel出力" (Excel Output) button and the "全件ダウンロード" (Download All) button.

The main table displays the following data:

履歴	No	ホスト名	ID	オペレーション名	基準日時	実施予定日時	最終実行日時	オペレーション	パラメータ	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
実行	1	hostA	1	オペレーション1	2021/04/22 14:04	2021/05/02 12:00	2021/04/22 14:04	Yes	httpd, mariadb-server, php, perl, python	Yes, Yes, Yes		2021/04/23 19:24:45	システム管理者

6.2 CMDBパラメータの履歴を確認する(3/3)

履歴確認

- 最後に1回目の実行を行った基準日時より前の日付を入力してフィルタをかけます。

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface with the following steps highlighted:

- 1**: A red circle points to the "基準日時" (Baseline Date) input field in the "表示フィルタ" (Display Filter) section. A callout box contains the text: "1回目の実行を行った日時より前の日時を入力し フィルタをクリック".
- 2**: A red circle points to the "フィルタ" (Filter) button in the "表示フィルタ" section.
- 3**: A red circle points to the "レコードはありません" (No records found) message in the main list area. A callout box contains the text: "何も表示されないことを確認する".

The interface includes a top navigation bar with the Exastro logo, user information (ようこそ[システム管理者]さん ログインID [administrator]), and buttons for "パスワード変更" (Change Password) and "ログアウト" (Logout). The left sidebar has sections for "Menu", "メインメニュー", and "インストールパッケージ一覧". The main content area has tabs for "説明" (Description), "表示フィルタ" (Display Filter), "一覧" (List), "全件ダウンロード" (Download All), and "変更履歴" (Change History).

A 付録



参考① 【Ansible-Legacy】 単体実行

作業実行

- Ansible-Legacyは「作業実行」メニューがあり Movementごとに個別実行や、ドライランが可能です。

The screenshot shows the Ansible-Legacy interface under the 'Execution' menu. It displays three main steps:

- 1** Movement selection: A red box highlights the 'Movement' section where 'MovementID 1' (名前: パッケージインストール, 状態: Ansible Legacy) is selected.
- 2** Operation selection: A red box highlights the 'Operation' section where 'OperationID 1' (名前: オペレーション1, 実施予定期間: 2021/05/02 12:00 - 2021/05/12 14:49) is selected.
- 3** Dry Run: A red box highlights the 'Dry Run' button in the bottom navigation bar.

作業実行

Movement[一覧]

MovementID	Movement名	オーケストレータ	遅延タイマー	Ansible利用情報	最終更新日時	最終更新者
1	パッケージインストール	Ansible Legacy		IP	2021/04/19 14:43:47	システム管理者

オペレーション[一覧]

No.	オペレーションID	オペレーション名	実施予定期間	実施実行日時	アクセス権	権限	最終更新日時	最終更新者
1	1	1 オペレーション1	2021/05/02 12:00	2021/05/12 14:49	グローバル	権限あり	2021/05/12 14:49:48	legacy作業実行プロシージャ
3	3	3 オペレーション2	2021/07/08 18:00	2021/05/13 20:13	グローバル	権限あり	2021/05/13 20:13:48	legacy作業実行プロシージャ

ドライラン

: プレイブックの接続確認/構文チェック

実行

: プレイブックを実行

参考② 【Ansible-Legacy】 実行確認

作業結果確認

- 実行(またはドライラン)すると画面が切替わり、実行ステータスやログが表示されます。

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface with the Ansible-Legacy module selected. The main window displays the execution status of a job, including details like engine, host, and user. A red box highlights the 'Input Data' and 'Output Data' fields, which point to a download feature. Another red box highlights the log output, which is shown in two tabs: 'Execution Log' and 'Error Log'. A third red box highlights the 'Point' text in the status bar at the bottom.

Point

実行ステータスや、
投入データが確認可能です。

Point

実行ログやエラーログを
リアルタイムで確認可能です。

Point

投入データや結果データを
ダウンロードすることも可能です。



Exastro